

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式ウェブサイトにてご確認ください)

●公共機関

・区役所 中原区役所5Fなかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113

・会館 川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000

・会館 川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560

・会館 かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566

・郵便局 川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724

川崎ブレーメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800

川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800

川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617

●元住吉西口(ブレーメン通り／井田中ノ町商店街通り)

・果物 フルッチョ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338

・介護センター みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月1-35-7元住吉G Sビル2F Tel.044-430-6963

・カフェ 水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288

・花屋 Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015

・鉄板焼 ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999

・ヘアサロン キャメル ヘアーデザイン 中原区木月1-32-10中嶋ビル1F Tel.044-872-7375

・パン リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554

・カイロ、整体 ABCカイロプラクティック 中原区木月3-20-16 柳沢ビル 1F Tel.044-434-4342

・コーヒー専門 MUI (旧 もえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368

・カフェ フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156

・接骨院 井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850

・コミュニティカフェ イダカフェ 中原区井田中ノ町33-9 Tel.044-799-7127

・時計・貴金属 つだとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022

・広告制作 アルケファクトリー 中原区井田中ノ町33-7 Tel.044-797-2430

・ヘアサロン 波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692

・理容室 Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町8-2 Tel.044-755-0273

●元住吉東口(オズ商店街通り)

・カフェ cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101

・介護センター ツクイ川崎中原 中原区木月2-8-5 Tel.044-431-0027

・調剤薬局 綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374

・飲み喰い処 粹い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980

・古本・CD 凸っと凹っと 中原区木月2-10-3

・STEAK ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129

・お茶 金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877

・Sステーション ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863

・サンドウィッチ ベトナムウィッチThao's 中原区木月2-1-1 Tel.044-982-3299

・鍼灸院 和式整体&整心の『響氣』 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880

●元住吉近郊

・喫茶室 シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-588-9688

●武蔵小杉近郊

・喫茶店 Coffee Spot Life (ライフ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024

・紅茶専門店 Tea House ローズマリー 中原区小杉町70-4 Tel.044-733-1076

・カフェ フォレストコーヒー 小杉サライ通り店 中原区今井南町428-9 Tel.044-819-8822

●東横線沿線

・調剤薬局 オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005

・調剤薬局 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318

・写真 PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406

・カフェレストラン カンファー・ツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2200

※上記サポーター記載は無料です。

Mマガジン

MAGAZINE

●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories

元住吉の気軽な音楽会

2017 12月号

後援:
「音楽のまち・かわさき」推進協議会
公益財団法人 川崎市国際交流協会
人形劇団ひとみ座 /rk-factory

12月10日(日) 13:30~
12月24日(日) 13:30~
音友レコード倶楽部
場所イダカフェ

12月17日(火) 13:30~
くじら座in
アコースティックコンサート
場所イダカフェ

12月19日(火) 12:10~
ランチタイム
ロビーコンサート
場所川崎市生涯学習プラザ

12月19日(火) 13:50~
ママのおひざで聴く
ヴァイオリンコンサート
場所国際交流センター

【表紙写真】チェット・ベイカー。ウエストコースト・ジャズの代表的トランペット奏者であり、ヴォーカリストでもある。1954年にレコーディングされた「チェット・ベイカー・シングス」に収録の「マイ・ファニー・ヴァレンタイン」はチェットの代表曲の1つであり、同楽曲の代表的カヴァーの1つでもある。このチェットの歌い方にジョアン・ジルベルトが影響され、ボサノヴァ誕生の一因となったと言われている。ドキュメンタリー映画「Let's Get Lost」は彼の死後まもなく封切られ、アカデミー賞ドキュメンタリー部門にノミネートされた。(写真ともウィキペディアより)

12月19日(火)
クリスマスコンサートを
開催します。

川崎国際交流センター
レセプションルーム

10:15 開場 ちびヴァイオリン体験
10:45~11:30 クリスマスコンサート
終演後 ちびヴァイオリン体験
参加費:親子一組¥2,500
(追加1名¥1,000)

田島華乃(violin)
桐朋学園大学附属音楽高校を経て、
桐朋学園大学を卒業。
アルゲリッチ国際音楽祭、
ザルツブルク音楽祭参加、
ファイナルコンサートに出演。
全日本芸術コンクール第二位。
菊地成孔・ベートリメント・アスカラル、
中島みゆきコンサート「一会」、
東京宝塚歌劇団、
ディズニースタジオなど、
様々な公演にて演奏。
親子向けコンサート企画、
音の家otonoya 代表として
都内の親子カフェやホールで、
0歳 から参加可能な
親子コンサートを実施している。
公式サイト <https://otonoya.jimdo.com/>

片山裕子(piano)
桐朋学園大学を経て研究科を修了後、
同大学声楽科の
嘱託伴奏員として勤務する。
その後シュトゥットガルト国立音楽大学にて
歌曲伴奏法・解釈について学び帰国。
現在は、主に合唱の伴奏や
声楽との共演ピアニストとして活動。
映画「カルテット! 人生のオペラハウス」の
ジャパンプレミア試写会、BS-TBS! 日本名曲
アルバム、テレビ朝日「関ジャニ∞の
Theモーツァルト 音楽王No.1決定戦」等
メディア出演も積極的に行う他、
イベントや式典での演奏も多い。
公式サイト <https://yukopiano.net/>

「ママのおひざで聴くヴァイオリン」
スペシャルイベントを
国際交流センターの
レセプションルームにて開催致します。
本格クラシック曲、歌って踊れるクリスマスソング、
チャイコフスキーのくるみ割り人形
の紙芝居、など楽しい曲が盛りだくさん。
ゲストのトナカイさんも登場します!お楽しみに!

12月24日(日)
イダカフェ13:30~
参加費¥500
飲み物¥500円(クッキー付)

ONTOMO Music Record Club
音友レコード倶楽部は
「クリスマス」のオンパレード!!

音友レコード倶楽部 Jazz Date #113 ジャズ・レコード・ディスク・ジョッキー「今年出会ったアルバムの中から」は楽しみだ「音友会」きって

のジャズ・レコード・コレクターY氏が、中古レコード店のLPエサ箱(収納BOXのこ)とで見つけた貴重盤からレクしたプログラムを介して

いただきます。ジャケットを見て、演奏を聴いて、これぞ垂涎盤!と思ったら、あなたもきっと手に入れたくなるでしょう。また、当日各自持ち寄ったレコード、CDも披露していただき、楽しい雰囲気の中で、知らなかった情報を得られるのも嬉しいことなんです。

音楽好きな友の会
Music Enjoy Club

音楽が好きの方、
一緒に楽しみませんか?
ボランティアスタッフ募集中!

レコードコンサートやライブイベント等、地元「元住吉」周辺での企画や運営と一緒に楽しみませんか?年齢・性別・国籍問わず。ただし、あくまでもボランティア精神で。いっしょに「川崎・音楽のまち」を楽しみながら推進しましょう!

Music Enjoy Club

<http://ontomo.jp/>

入会のお申込み、問い合わせは ontomo.jp 検索
090-9398-2889 (担当:塚田)

川崎市国際交流センター

ネイティブ講師による国際理解講座
中国語(水墨画・台湾家庭料理体験)
①11月25日(土) 14:00~16:00
②12月16日(土) 10:00~12:00
韓国語(韓国社会の衣・食・住)
①11月25日(土) 10:00~12:00

●参加費:中国語2,020円(2回・材料費込)
韓国語510円●各中上級者、定員:24名(先着順)
申込方法:電話、FAX、Eメール、直接来館にて

▲12月16日
中国語:蘇芳堂氏

▲韓国語:李素文氏

●お問い合わせ・お申し込み
(公財)川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000
FAX 044-435-7010
E-mail:kawasaki@kian.or.jp
川崎市中区木月祇園町2-2
元住吉駅から徒歩10分

カナガワビエンナーレ
国際児童画展
12月6日(水)~17日(日)
9:00~21:00/入場無料
かわさき巡回展では、大賞作品と川崎市在住の子どもの入賞作品を中心に100点ほど展示します。

川崎市生涯学習プラザ

第60回
ランチタイムロビーコンサート
12月19日(火) 川崎市生涯学習プラザ 1階ロビー
12:00開場/12:10開演/12:40終演予定/料金:無料

古渡智江先生によるコンサートと、生涯学習プラザの歌の教室受講生による合唱です。
会場のみなさんと一緒に歌うコーナーも予定しています。
クリスマス気分をお楽しみください。社会人講座修了。

【出演】
古渡智江先生と
「楽しく歌の教室」の皆さん

【演奏曲目】
オオ シャンゼリゼ
マイ ウェイ
団 伊玖磨の子もり歌
パニス・アンジェリクス
X'mas song
他

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団
総務室企画情報係
ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5811
E-mail:concert@kpal.or.jp
川崎市中区今井南町28-41

元住吉の気軽な音楽会

くじら座inアコースティック・ライブ
12月17日(日)イダカフェ
13時開場/13時30分開演/チケット:¥1,500(飲食代別)
●演奏予定:「銀河鉄道」、「トロペーといっしょ」、他

●お問い合わせ
くじら座
kujirazarecords@gmail.com
or
twitter.com/kujirazainfo

くじら座
KUJIRA-ZA

モトスミ Jazz Night

●モトスミJazz Night委員会HP <http://motosumijazznight.org/> ●Tel:050-5275-5740

フォレストコーヒー
イダナカ商店街店&サライ通り店

中原区井田中ノ町33-1リエール住吉1F
TEL:044-754-1156 Open:9:00~20:00(休:水曜日)

ゆうき亭
ブレーメン通り商店街、鉄板焼

中原区木月1-28-16 TEL:044-434-6999
ランチタイム:11:30~15:00 ディナータイム:17:00~22:30
(LO 22:00)(休:火曜日)

Fables of Faubus(フォーバス知事の寓話)

今年も残すとこあとわずかとなりましたいよいよ年の瀬ですなあ、2017年もあつという間にすぎていってしまいました。皆さんはどのような一年を過ごされましたでしょうか？

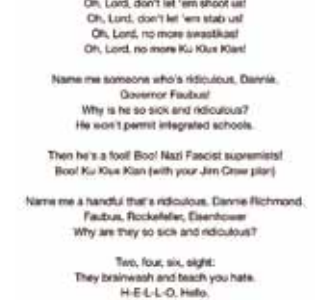
この年の瀬、年末になると思ひ出されるのは私の所属していたサークルの冬の演奏会のことであります。この演奏会は4年生にとっては最後のライブになるのですが、自分が3年生の時分にあった出来事です。実は毎回の時期のライブはかなりタイトなスケジュールで行われていて、各バンド持ち時間が40分程度の持ち回りでおこなうというのが慣例でした。しかし、当時私が定期的に演奏していたバンドは、とにかく構成が複雑、その割にソロ中の自由度が高く一曲の演奏に10分を超える長尺であったりと、かなりアバンギャルドな演奏を繰り広げていました。バンドの練習をやる度に様々なアイデアが飛び交い、以前に行った練習からかなりの変更が行われたりと、当日まで曲が完成しない、ということも多々ありました。そんなこんなバンドですから、確実に1ステージが40分では収まりきるはずもなく、練習の段階で時間がオーバーするのは確実、というような状態で本番に臨みました。もうなんと言いますか、特攻したような感じです。



▲①[Mingus Presents Mingus]

そんなライブのオープニングを飾った曲はかの有名なジャズミュージシャン、チャールズ・ミンガスの作曲による“Fables of Faubus”という曲。(画像①)この曲には特に特別な思入れがあり、この曲のタイトルの邦題は『フォーバス知事の寓話』。米国の公民権運動期に明るい方は何かピンとくるかと思いますが、南部のアーカンソー州のリトルロックセントラル高校での分離教育を巡って州だけではなく、市長、大統領までも巻き込んで起こった事件を題材にして、大統領アイゼンハワーとアーカンソー州の知事であったフォーバス知事を揶揄して書かれたものであるとされています。聴きどころは何と言っても歌詞の内容にあると思います。(画像②)とてもじゃないですが日本語訳は出せませんが(笑)当時はフリージャズや、フ

リーンプロビゼーションにかなり傾倒して、誰にも分かってもらえない、ということを考え、かなり尖っていましたので、なんと言いますか、こんなにも自由に表現してもいいんだ、こんなにも自分の思っていることを伝えてもいいんだ、というような「表現の自由」(なんだか憲法じみた言い方になってしまいました)ということがどれほどの時間を要したかと申しますと、なんと約20分強ほどかかってしまい(バンドは2サクス、ギター、ベース、ドラムスの5人編成でした)泣く泣く他の曲をカットして演奏を終えたという少し不完全燃焼な思い出でありました。ただ、その20分間の演奏は練習以上の出来栄で、特にフリースタイルの部分は非常に意思疎通のとれた演奏が出来たということを記憶しています。(記録に残さなかったのが残念でなりません泣)



▲②フォーバス知事の寓話、歌詞

音楽を通して気さくに語り合える集いです。音楽好きな友の会

音友レコード倶楽部

ONTOMO Music Record Club

【お知らせ】12月のみ第2、第4日曜日で。

12月10日(日)／12月24日(日) 午後1:30～午後4:30

イダナカ商店街／井田小学校正門前 イダカフェ 参加費¥500／飲み物¥500円(クッキー付き)

タンノイ(スピーカー)はアコースティックな音楽がお似合い

最近「音友レコード倶楽部」をホームページで見て遠路はるばるいらっしゃる参加者の方が増えています。第1日曜日は「ポップスからジャズ」と幅を広げレコード、CD持参の方は1人15分の持ち時間で皆さんと鑑賞を楽しんでいます。今月はわざわざ渋谷からお越しいただいた初参加の女性の方がいらっしました。現在はハモニカを熱心に勉強中だそうです。その方が選曲されたのはトランペット奏者の「ウイントン・マルサリス/スタンダード・タイム」(写真①)より"枯葉"、"キャラバン"。そしてコンビネーションアルバムよりルイス・ヘイズの"マイ・フェイバリット・シングス"です。これらのスタンダード曲を参考にしながら練習しているそうです。女性ボーカルを中心に選曲し毎回参加している方は、ラニー・ホール(ハーブ・

アルバートの奥方)の「ラニー・ホール / ベスト・コレクション」(写真②)より"Come What May"(Lo Que Siento Hoy Por Ti/スペイン語)、「カーペンターズ/ソング・フォー・ユー」(写真③)より"ソング・フォー・ユー"、「スパイロ・ジャイラ/インコグニート」(写真④)より"遥かなるサンファン"です。特に"ソング・フォー・ユー"は久しぶりに聴かせていただきましたが、カレン・カーペンターの奥深いボーカルとシンプルなドラムは絶品。昔、まだ私が中学生の頃、TVでドラムを叩きながら歌っている姿を見たことがあります。その場面が頭の中で走馬灯の様によみがえってきました。他にも「エリック・クラプトン/アンプクラウド」(写真⑤)より"ティアーズ・フォア・ヘブン"、「ダイアナ・クラール/ザ・ルック・オブ・ラヴ」(写真⑥)より"ス・

ワンダフル"、「アンドリュー・シスターズ/ザ・グレートスト・ヒッツ」(写真⑦)より"素敵なあなた"、"ピストル・ピッキング・ママ"、しっとりしたテナー・サクスのバルネ・ウィラン「フレンチ・バラッズ」(写真⑧)などなど・・・

今月は曲数が多くこの紙面では紹介できませんが、総じてジャズ・カフェで使用しているタンノイ(スピーカー)はアコースティックな音楽との相性が良く、ロック的な音よりもジャズや女性ボーカルが似合うスピーカーであることを今更ながら実感した次第です。Mマガジンを購読の皆さんもぜひご自分のお持ちのレコード、CDを持参して皆さんに披露をお願いいたします。(フレドリック・ジョーンズ記)



111回目を迎えた目玉特集はジョージ・ガーシュウィン！

小雨の降る寒い日でカフェ内には暖房が入っていました。この会も4年目に入り、数えて第111回目になったそうです。

さて本日の持ち寄りタイムは、ディジー・ガレスピー、レッド・ノーヴォ、デビッド・マシューズ、ウェス・モンゴメリー、マイルス・デイビス、グレート・ジャズ・トリオが登場しました。マンハッタン・ジャズ・クインテットを率いる以前のデビッド・マシューズのアルバム「ライヴ・アット・ザ・ファイヴ・スポット」(写真①)からおなじみの"ラウンド・ミッドナイト"が流れましたが、作曲者のセロニアス・モンクは冒頭のディジー・ガレスピーと共に今年生誕100周年を迎えました。この曲は何度聞いても心に響きますね。次のグレイト・ジャズ・トリオの「枯葉」(写真②)のタイトル曲もこの時期にはぴったりの選曲でした。

DJタイム前半は「私の好きなスウィング・セッション1」と題し、1930年から1976年までの全9曲をディスクジョッキーの語りで楽しませていただきました。豊富な知識から溢れ出るウィットに富んだ解説を毎回聴けることは貴重であり、50年から60年のモダンジャズに偏重気味な私の好みも40年代位

までに拡大しつつあります。2枚目のアルバム、ライオネル・ハンプトン「オープン・ハウス」(写真③)はハンプトンをはじめ、ディジー・ガレスピー、ベニー・カーター、コールマン・ホーキンス、ベン・ウェブスター、チャーリー・クリスチャンなど、この時代のビッグ・スターが勢ぞろいした豪華セッションで、ハンプトンのヴィブラフォンの響きが印象的でした。最後はルビー・ブラフ・セクステットの演奏で、おなじみの名曲 "Tea for Two"が流れましたが、村上春樹の著書「女のいない男たち」にもアート・テイタムの演奏が登場のディジー・ガレスピーと共に今年生誕100周年を迎えました。この曲は何度聞いても心に響きますね。次のグレイト・ジャズ・トリオの「枯葉」(写真②)のタイトル曲もこの時期にはぴったりの選曲でした。

DJタイム後半は脳腫瘍のために若干38歳で亡くなったジョージ・ガーシュウィンの特集企画でした。目次の『ガーシュウィン・ソングブック』という名は、エラ・フィッツ・ジェラルド も4枚組のソングブックを出していますが、DJが重いにもかかわらず持参してくれました。今回は浅田真央さんがリンクで

踊った"アイ・ガット・リズム"や、スタンダード曲 "ザ・マン・アイ・ラブ"、野村不動産のCMにも使用されている"サムワン・トゥ・ウォッチ・オーヴァー・ミー"(ガーシュウィンの兄アイラの作詞)、ビル・エヴァンス・トリオで聴けたオペラ「ボギーとベス」からの"アイ・ラブ・ユー・ボーギー"など全11曲を堪能させていただきました。演奏はクリス・コナーではじまり、リー・ワリー、チャーリー・パーカー、レスター・ヤング、ビル・エヴァンスとエヴァンス系のピアニストの二人、ミシェル・ペトルチアーニ、エンリコ・ピエラヌンツィ、そしてジョン・コルトレーン、ソニー・ロリンズ、最後はナット・キング・コールで締め括られました。人気曲"サマータイム"は、ミシェル・ペトルチアーニとその父親とが組んだ「カンヴァセーション」(写真④)から選曲されましたが、ピアニスト国府弘子さんもペトルチアーニが大好きと過去のジャズ講話で語られていました。人生の過ごし方は長生きを良しとするか、太く短くを望むか人それぞれですが、ガーシュウィンにはもう少し長生きをして欲しかったと悔やまれます。クラシックの作曲家としても世界に評価されたガーシュウィンの"ラブソディ・イン・ブルー"を聴きながらこの記事を書いています。とにかくにも、膨大なレコードコレクションの中から、名演の数々を抽出するために費やされた労力に感謝いたします。(K.T 記)



初めて聴いたジャズ！それはベテランピアニストの名演奏でした。

どうしてジャズなんか聴き始めたのかな？ロックやソウルに比べて取っつきにくい音楽ですよ。何となく難しそうだし、キャッチーなメロディー満載ってわけでもない。それでも皆さんはどこかで「ジャズとの出会い」ってものがあって、結局ハマってしまったのでしょうね。私の場合は高校1年の時、クラスメートから勧められて初めて聴きました。案外平凡な「ジャズとの出会い」なのですが(笑)、今回はそこらへんから2枚のアルバムを紹介させていただきます。

高校1年と言うと16歳ですね。当時、フォークソングを卒業してハードロックや全米トップ40などにどっぷり浸かっている時に友人から紹介されたのがザ・グレート・ジャズ・トリオの「At The Village Vanguard Vol. 2」(写真①)でした。ジャズを聴いているなんて、紹介してくれた友人が急に大人に見えて、なんとなく悔しい思いをしたのを覚えています。



▲①At The Village Vanguard Vol. 2

幸いにも1曲目の「コンフォーメーション」はテーマがハッキリしたメロディーで聴きやすかったので、1発で気に入りました。ロックやポップスとは違った高揚感を感じ、また音楽の複雑さに驚いたのを覚えています。最初の頃はベースやドラムにまで耳がいかなかったので、ピアノのメロディーをひたすら聴いていました。何回も何回も必死で聴いた

ので、未だに「コンフォーメーション」と言えばチャーリー・パーカーでは無くグレート・ジャズ・トリオの演奏を思い浮かべる程です。アドリブの1音1音まで覚えているかもしれない若い頃の記憶力って凄いですね。

ここで、簡単にグレート・ジャズ・トリオの紹介をしておきますね。ピアノのハンク・ジョーンズは長年ラジオ・テレビのスタッフミュージシャンとして活躍してきたとの事で、本人名義のアルバムはそれほど多くないのですが、有名な所ではキャノンボール・アダレーの(マイルス・デイヴィスの)「Somethin' Else」にクレジットされています。ベースのロン・カーター、ドラムスのトニー・ウィリアムスはともにマイルス・バンド出身で、それぞれに素晴らしい経歴の持ち主ですね。トニーは自身のバンドではロックを追及していました。また、ロンは今でも現役で、11月に80歳記念ライブをケニー・バロンと一緒にブルーノート東京でやるのですよ。予約しましたので、観てきてまた報告しますね。

さて、改めて「At The Village Vanguard Vol. 2」の紹介ですが、何と言っても1曲目の「コンフォーメーション」。出だしから飛び跳ねるような軽快なリズムで楽しめます。ハンク・ジョーンズのピアノはどこか品が有り華やかな印象なんですよ。けっこう長いアドリブはメロディーの洪水で飽きることがありません。ロン・カーターのソロに続き、ハンクとトニーの掛け合いがあり、テーマに戻る瞬間は思わず拍手をしたくなります！3曲目、ビル・エバンスの演奏でオ馴染みの「ナードイス」もお勧めです。相変わらず美しい曲ですね。ハンクの煌びやかなピアノとロン・カーター特有の粘るようなベース、トニーのシャープなドラム、どれをとっても一級品の演奏です。

Vol.2があるって事は当然Vol.1もあります。「At The Village Vanguard」(写真

「イダナカ・ハロウィン」くじら座・牧野クミ

先月(10月ですね)誕生日を迎えたくじら座ピアノ担当牧野くみです。ふと考えたのですが私が小さな頃思い描いていた大人はもっと大人でした。大人になったら歯医者や病院が怖くなくなると思っていたけど未だに歯医者や病院は怖い、車を運転して色々な場所に出かけていると思っていたけど未だに自動車免許を持っていません。

いつからか毎年10月にはバースデーライブを企画しています。大体9月頃には「何でこんな大変なことをやろうとしてしまったんだろう…」と後悔し、直前一週間くらいはもういろんなことにいっぱいいっぱいになっているのですが、不思議なことに終わってみると「今年はあれが反省点だから来年はこうしたいな」と先の事を考えている自分がいます。過去の事はすぐ忘れる性分です(笑)

そしてもう一つ、10月にはハロウィンイベントというものがあります。年々加熱し盛り上

がっているように見受けられますが、こちら元住吉でも昨年に引き続き開催されました。我々くじら座的にはこのハロウィンは非常に思入れがあって、というのも昨年くじら座でイダナカハロウィンに出演させて頂いたご縁で今があるようなものです。感謝感謝。

がしかし昨年の反省点は、仮装が中途半端だったこと。一年間そのことを胸に留めて過ごして今年はクオリティを上げて臨もうと準備をしていたところ、今回のハロウィンストリートライブは台風の影響で中止になってしまいました。悔しいのでせっかく用意した仮装をぜひ皆様に見て頂きたいと思い今月は仮装の写真を掲載したいと思います(イダカフェ室内で行われたライブにて着用)。

銀河鉄道999の鉄郎とメーテルです。くじら座のオリジナル曲で「銀河鉄道」という楽曲があります。宇宙や星というものはイメージが膨らんでわくわくしますね。私は音楽だけではなく宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」も大好きな作品のひとつです。ちなみにMマガジン先月号にオリジナル曲「銀河鉄道」につ

いて詳しく書いてありますのでぜひ併せてお読みください。

さて、来年は何の仮装をしようかな…



▲左、牧野クミ。右、牧野ケント

金曜日の夜は、元住吉、井田小学校正門前のジャズ喫茶で!!音響装置はKT-88/6L6の真空管アンプで、暖かな音色がより疲れを癒します。

Every Friday is a jazzy night, Let's heal the fatigue of work

Mマガジン持参の方お1人様1回につき、1ドリンクサービス!

★ida cafe Friday Night★

Cool Down-J.

毎週金曜日 17:00-23:00 L.O.22:30

元住吉駅西口下車、プレーメン通りを抜け徒歩12分。井田小学校正門前

天井が高く、残響もとても心地よい空間です。その特性を生かし大きな音で聴くのではなく、ホールで聴くライブ感覚をこのカフェは醸し出しています。週末のこともあり、店の名前は"Cool Down j."。一週間の疲れを安らげる無理のないサウンドで、心を癒して帰途についていただきたい。おいしいコーヒーとお酒。おつまみをご用意しています。

Cool Down j.の音響装置
★アンプ: CAV T-88a、6L6自作、ONKYO A-913
★スピーカーシステム: タンノイ・パークレー・ティアック。
★プレーヤー: コスモ78回転仕様。
★CDプレーヤー: パイオニア。



▲CAV T-88a